

サークル紹介

バスケットボールサークル 楽しくバスケしませんか

一人で運動すると長続きしない・・・だれかと一緒にスポーツできないかなあ。そんな経験ありませんか？ いい汗をかくことをモットーに活動しています。

学生時代やっていたけどまたやってみたくなった人、運動不足の解消をしたい人、子供と一緒にバスケがしたい等々。参加者常時募集中。靴があればオッケー。10代～50代と幅広い年代の方が集まって活動しています。

- 毎週火曜日、19時～21時
- 場所 小久慈小学校体育館
- 会費なし
- 未経験者・女性歓迎
- 問合せ：090-7935-5785 (八木澤)



第20回全国中学生都道府県対抗野球大会in伊豆 久慈ドリームス 準優勝

10月29～31日『第20回全国中学生都道府県対抗野球大会in伊豆』において準優勝の成績を収めました。久慈管内の中学三年生23名でチーム構成した中、小久慈プレイヤーズ出身の5名が大活躍をしました！

多くの皆様・企業様よりご支援を頂き大会参加することが出来ました、大変ありがとうございました。

◎大会結果

二回戦	vs 新潟県選抜	3-0
準決勝	vs オール東京	5-1
決勝	vs 滋賀 JBoy's	0-2

●小久慈プレイヤーズ出身選手

No.2 和野 虎牙 No.7 中屋敷 建介 No.15 谷崎 晴斗 No.18 山田 千叶良 No.19 田中 脩也



長内中学校 野球クラブ

長内中野球クラブ(長内中学校野球部)は、7月に行われた全軟少年野球新人大会において市予選を勝ち抜き4年連続県大会出場を果たしました。県大会でも一回戦・二回戦を勝ち上がり、三回戦で優勝の湯口中学校に敗退しましたがベスト8入りの結果を収めることが出来ました。

中総体新人では、長中史上初の地区予選二連覇を達成！県大会でも二連覇を目標に挑みましたが、一回戦は突破しましたが、二回戦で敗退し目標達成が出来ませんでした。プレイヤーズ同様に地域に応援してもらえるチームを目指しておりますので、今後も宜しくお願い致します。

令和4年度「小久慈朝市」を振り返って

■はじめに 小久慈朝市は「住み続けたいまち、戻って来たいと思うまちづくり」を目指す「ふるさと未来づくり事業」として、平成28年度から話し合いを重ね、平成30年7月8日に第1回小久慈朝市としてスタートしたものです。

コロナ禍や台風等で中止もありましたが、11月13日の今年最後の朝市が「通算19回目」の朝市となりました。

今年も出店者や来場者の皆様のご協力を賜り、毎回「晴天無風」の天候にも恵まれ、コロナ禍ではありましたが、中止することなく「5回」開催し、楽しく交流する事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

■第5回朝市は 11月13日(日)今年最後の朝市を開催、開会セレモニーでは大勢の来場者が見守る中、小久慈小学校4年生が合唱「すてきな一歩」を披露(写真左)



続いて「朝市の開店」も元気に宣言してくれました、来場者の皆さんが一斉に入場です。5・6年生の皆さんも出店し「販売体験」も行いました。自分達が育てた「もち米、大根、じゃがいも」などを入口付近のテントで販売しました。(写真下)

子ども達が会場内に大根を持って「大根はいかがですか」との出張販売も行い、約20分で完売、小学生の皆さんも町内の皆さんと交流ができ、良い経験になったと思います、来年の朝市にも出店して下さい。

最後の朝市なので今年最多の「18店」が出店、常連の出店者さんに加えて、久慈東高校はシクラメン、十文字チキンカンパニーはトラックで多数の鶏肉等の販売です。

受付では抽選で玉子100パック、100円割引券50枚が配られました。

過去最高の500人以上の皆さんのご来場により、10時の閉店まで今年最後の朝市を楽しみ、出店者や来場者の明るい声が響いていました。

■令和4年度の小久慈朝市は 今年の朝市は5回とも天候に恵まれ、コロナ禍でありスタッフを多く配置し、検温や名簿記入等コロナ対策を充分に行い、イベントとしては、「玉子」、「100円割引券」の配布、初めての「包丁研ぎ」も各回に振り分けセットし、皆さんに楽しんで貰いました。

最後の朝市では小久慈小学校の「合唱」と「開店宣言」や「販売体験」などのご協力もあり最大の賑わいとなりました。地元の出店者は作付け時期の関係もあり9月には13店でしたが11月は18店で、5回平均では16店と多くの皆さんからご協力いただきました。

地元の交流と賑わい(来場者5回で1,720人)、資源・資金の循環(売上5回で約170万円)が図られ、出店者、町民、スタッフ・役員が一体となって取り組み、令和4年度小久慈朝市を成功する事が出来ました。重ねて御礼申し上げます。【2頁へ続く】



～搾りたての「えごま油」あります！～

小久慈じゅうね研究会では、この秋に収穫したばかりのえごまから「えごま油(じゅうね油)」を搾り販売しています。

- えごま油(50g) 700円 ●えごまパウダー(200g) 200円

※お問い合わせ先：市民センター(電話：59-3051)まで!!

小久慈

まちづくり通信

第75号

令和4年12月15日
小久慈まちづくり協議会広報委員会
久慈市小久慈町
21-47-14

小久慈市民センター
電話 59-3051

2頁記事

- ・小久慈朝市
- ・イルミネーション

3頁記事

- ・小久慈焼教室
- ・交通安全防犯教室

4頁記事

- ・サークル紹介バスケ
- ・長内中野球クラブ

令和5年度も「より良い朝市」を目指したいと思っておりますので、更なるご協力をお願いします。
朝市開催に当たって、地域づくり振興課、高谷集落支援員、小久慈市民センター職員には毎回ご指導ご支援をいただき大変お世話になりました。

また、歴史民俗資料室の担当職員には、毎回朝早くから開館し、テーブル等機材をお借りするなどご協力いただきありがとうございます。

■令和4年度の「出店者反省会」

昨年は12月9日(木)35名が出席し、朝市の反省や次年度に向け意見交換を行い、「静かな懇親会」も交流しました。

しかし、11月23日(水)の新聞によれば「久慈管内のコロナ感染者数85名」の報道があり、会長・事務局長等関係者が相談し「皆さんが安心して参加出来る環境に無い」と判断し、残念ながら今年度の反省会は「中止」し、令和2年度同様に「アンケート調査」に変更しました。

出店者、朝市チーム・スタッフが一堂に会し「良い朝市・楽しい朝市を創る」ために話し合い、懇親を深めたいところでしたが、残念ながら中止としましたのでご了承願います。

一刻も早いコロナ感染症の収束を願うばかりです。

(小久慈まちづくり協議会 事務局長 八屋 勉)



ウクライナ人道危機救援金 募金

11,515円【朝市の総額(5回)】

※募金ご協力ありがとうございます。日本赤十字社 岩手県支部久慈市地区へ届けました。

べっぴんカフェ
12月の市
12月18日(日)
10時〜2時
山根市民センター

今年も「イルミネーション」で小久慈を明るく

恒例の点灯式は12月1日(木)午後4時から開会セレモニーを行い、「スマイルイルミネーション」が小久慈市民センターに輝いています。

センター玄関屋上には三角錐のイルミネーションと屋上から「つららライト」、そして放課後子ども教室でペットボトルに色塗りをし、LED電球をセットした「ペットボトルツリー」が玄関入り口に2基セットされています。

点灯式には、放課後子ども教室こくじっ子☆フレンドパーク40名、小久慈保育園25名、小久慈学童たんぼぼクラブ25人、小久慈プレイヤーズ11名の子ども達100人以上が参加し、総勢で約150名がセンター前に勢揃いしました。

冒頭、主催者の鹿糠まちづくり協議会長より「コロナ感染症の収束は未だ見えませんが、今年も牧野組合様のご支援で小久慈を明るく照らす事が出来ました。明るい気分で新年を迎えましょう」と挨拶がありました。

続いて放課後子ども教室の皆さんが、「赤鼻のトナカイ」を元気に歌い点灯式を盛り上げました。

いよいよ点灯式です。点灯スイッチは3基設け①鹿糠会長、②横道センター長、③放課後子ども教室の熊谷悠聖さん、佐々木美咲さん、松下みいなさんがスイッチの前に並び、クラッカーも準備し皆で声を合わせてカウントダウンです。「点灯5秒前・4・3・2・1・点灯!!」一斉に点灯され小久慈が明るく照らされました。

今年は節電が求められており、点灯期間は1月末までとし1ヶ月短縮しました。

また、小久慈市民センターの使用電気は、滝ダムの水力発電で作られた100%再生可能エネルギー電気を使用しています。

写真上：記念撮影 下：子ども達にサンタからプレゼント!



※環境整理(秋仕舞い)をしました

未来づくり事業「小久慈焼チーム」の今年最後の例会を11月20日(日)に行いました。

小久慈焼チームでは「春の連休前」「盆前」「秋仕舞い」と年3回駐車場の草取り、枝伐り等環境整理を行っており、当日は9時から約1時間チームメンバー9名、市民センター2名、集落支援員の皆さんで駐車場や建物の周りの草刈りや落ち葉を掃くなどしてきれいに片付けました。

小久慈焼陶芸教室

環境整理終了後10時から「第7回小久慈焼陶芸教室」を開催しました。

陶芸教室は「夢灯り6名」：材料費1,000円、「手捻り14名」：材料費500円で合計20名の参加でした。

夢灯りは、高さ約20cm位の植木鉢型の粘土に星形や月形などの型を使ったり、好きな図柄を描いてナイフで切り抜いて、ロウソクなどの明かりを灯すものです。

「手捻り」は、まんじゅう位の大きさの粘土を、棒状に伸ばし、丸めて重ねて整形しカップ、茶碗を創る。又、平らに伸ばし縁を高くして「皿」などを創ります。

参加者は隣の人やお母さん達と相談し、思い思いの作品を約1時間30分掛けて創り上げました。

小久慈小学校4年生の碁石真生さんは「初めて創って楽しかった、来年もやりたい」と感想を話してくれました。

作品は自然乾燥後、素焼き、釉薬を塗り本焼きの工程で完成までに約2ヶ月掛かります。

作品は来年2月にアンバーホールで開催される生涯学習のつどいにも出展することとしています。小久慈市民センターコーナーでご覧下さい。

未来づくり事業「小久慈焼チーム」は毎年楽しくこのような活動を行っています。皆さんの入会をお待ちしています。(問合せ：事務局 八屋 勉 090-7061-7092)



交通安全・防犯教室
及び健康講座開催

高齢者の交通事故防止や特殊詐欺被害防止と健康で長生きするために必要なことを学ぶ講座が11月17日小久慈市民センターで開催されました。

この講座は、小久慈老連と市民センターの共催で行われ、小久慈老連の会員30名が参加しました。

第1部の「交通安全・防犯教室」で小久慈駐在所 野上佳紀巡査部長より久慈警察署管内における交通事故などの説明があり、人身事故では高齢ドライバーが4割以上となっており、出会い頭の事故も多いことから安全確認をしっかりとるようにと事故防止について話され、また特殊詐欺防止については不審な電話は警察や周りの家族などに相談する、留守番電話の設定などの注意を呼びかけました。

第2部の「健康講座」では久慈市地域包括支援センター八重桜明人さんは「元気で長生きするために必要なこと」は、人や地域とのつながりが大切で、「新しいことにチャレンジ」、「人と会って話す」、「大いに笑う」ことが認知機能アップにもなります。また、健康診断の受診は病気の予防・早期発見と医療費の削減にもなるので出来るだけ受診をお願いしたいと話されました。

その他、ソーラン節などの「音楽にあわせた体操」(写真)や介護予防に効果がある「いきいき百歳体操の紹介・体験」もあり、参加の皆さんは真剣な表情で講演に聞き入り、体操で身体を動かすなど有意な講座となりました。



「第75回岩手県社会福祉大会」において「小久慈老人クラブ楽隠会」が多年にわたり社会福祉の増進に貢献が認められ「ボランティア活動功労団体」として表彰されました。